

平成30年～令和4年の9～11月(秋山)における山岳遭難事故発生場所

＜秋季ハケ岳 7件の死亡事故のうち、死亡原因の多くは発病と転落です！＞

- 「適正な登山計画づくり」、「体調がすぐれないときに無理をしない」等の取組で事故を防ぎましょう。
- 特に頂上付近での滑落は生死にかかるため、十分気を付けましょう。

＜台風や寒冷前線の動向に注意し、防寒対策をしっかりと！＞

- 登山には適した気候ですが、台風の接近や寒冷前線の通過時には天気が崩れ、強風が吹き荒れるため注意が必要です。また、頂上付近は冷え込むため、防寒対策をしっかりとしましょう。

＜転落、スリップ、落石に注意＞

- 横岳、赤岳、阿弥陀岳稜線、地蔵尾根の各岩場、県界尾根の大天狗～赤岳及び赤岳天望荘への回り道、大同心・小同心、文三郎新道はしご場上部～赤岳頂上直下は転落に注意しましょう。南ハケ岳一帯は岩質がもろいため、落石・浮石にも注意してください。

北ハケ岳では発病や転倒事故に注意



唐沢鉱泉付近（2件）
転倒 ※重傷者あり

天狗岳付近（3件）
転倒・道迷い・病気
※死亡者あり

硫黄岳付近（2件）
転倒・その他
※重症・行方不明者あり

峰ノ松目（1件）
道迷い

美濃戸北沢付近（1件）
疲労により行動不能

美濃戸南沢付近（2件）
道迷い・その他

阿弥陀岳付近（4件）
道迷い・落石・その他
※死亡者あり

赤岳付近（7件）
転倒・転落・病気・その他
※死亡者あり



横岳付近（5件）
落石・滑落・転落・その他
※死亡者あり



権現岳付近（2件）
転倒 ※重傷者あり

株式会社サンニチ印刷提供

南ハケ岳でのトントク中の墜落事故多し